



1987-1993

友情はいつまでも消えない



前列：木村・小林。二列：野崎・伊藤・松葉・北里・弘田。三列：和久・中嶋・井上（栗田）・丸山。後列：松山・山崎・山下。

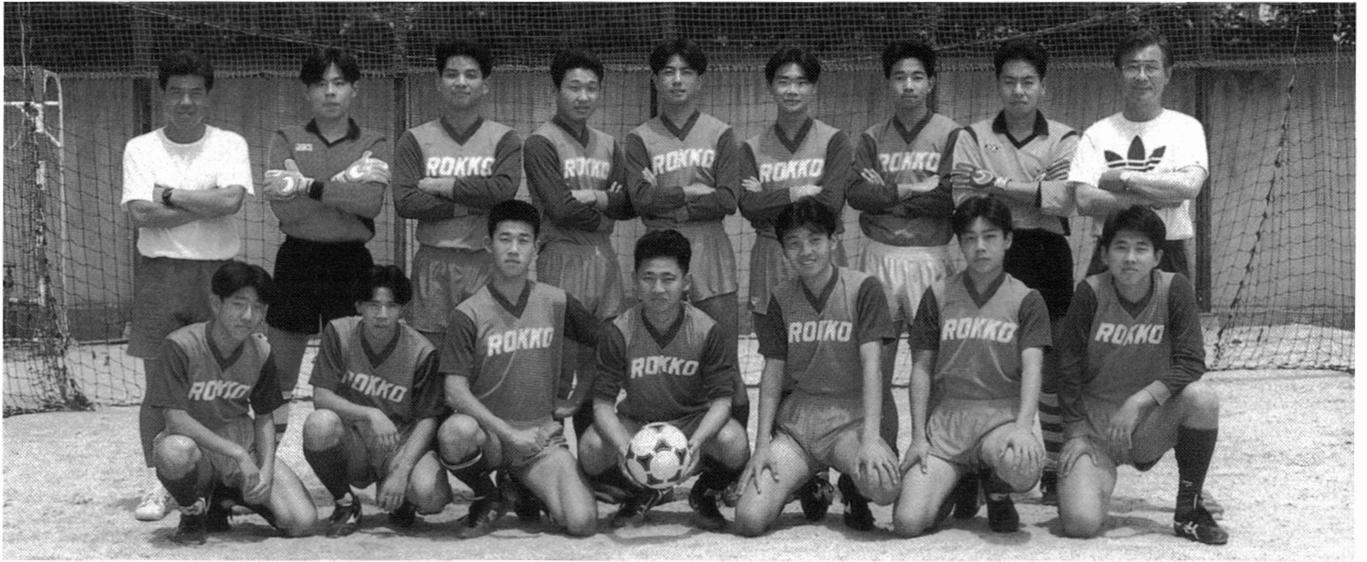
史上最悪の学生？

50期サッカー部員について何か書いてほしいということですが、私はマネージャーとしていつもベンチにいましたので、一つ一つの試合についての記憶というものが、他の選手よりも明確でないで、何を書いたら良いものか困ってしまいました。とりあえず、部員の紹介をしておきましょう。

まずゴールキーパーの野崎。彼は背がそれほど高くないにも関わらず、猛烈なファイトで、本当にピンチをよくしのいでくれました。スーパーの松山。彼はとてもトゥキックが上手く、

又、眼鏡をかけていたせいか、ヘディングが大嫌いによく佃先生に怒られていました。しかし、遂にはその恐怖を乗り越え、ヘディングとなったのです。右バック中嶋。彼は背が低いことを気に病んでいたのですが、50期の選手の中では一番安定していた選手といえるでしょう。とってもクールな奴です。ストッパー小林。通称こっばん。本来フォワードであった彼は佃先生の命令によって、バックという本意なポジションにされてしまいました。試合中にはその怒りを爆発させるが如く猛烈なオーバーラップを何度となくみせてくれました。左バック、北里。彼のあだ名は、“きったん”というので

すが先に述べた小林くんのあだ名“こっばん”は何を隠そう北里くんの“きったん”に由来しているのです。得意技はヘディング。ファミコンが好きな奴でした。同じくバック弘田。彼は“サル”といわれると発狂するのですが、後述する山崎とは犬猿の仲でした（もちろん弘田が猿の方です）。次にハーフ木村。親分肌の彼はそのめぐまれた体で幾度となく対戦相手を恐怖に導いてくれました。第51回体育祭委員長。ちなみにお父さんは気前がいいです。ハーフ松葉。彼が我が50期のキャプテンです。万年下痢の彼は、ドリブルで抜くのが上手く、1対1の練習では誰も止めることが出来ませんでした。特



別出演ハーフ藤井。51期の奴です。1年下であるのに、本当によくチームに馴染んでくれました。彼がいなかったらどんなに戦力がダウンしていたことでしょうか。ありがとう藤井。さて次はフォワード。右ウィング丸山。彼はその特異な走り方から佃先生に“ペンギン”と呼ばれていました。歌をうたうのがめっぽう好きな奴で、練習の合い間にはよく私と2人で歌ったものです。欠点は試合に負けると怒ってすぐに帰ってしまうことです。センターフォワード和久。彼は中学の頃にいろいろ問題を起こし管財の早瀬さんや谷さんにお世話になったらしく、大学に落ちたらペンキ屋を開業するそうです。左ウィング山崎。彼は小回りのきくその体を活かして、巧みにせまりくる相手を抜いてくれました。弘田くんとは仲が悪いようです。補欠ゴールキーパー伊藤。明るい彼は後輩から一番慕われていたといってよいでしょう。50期のムードメーカーです。補欠ハーフ井上（現栗田）。彼はマネージャーである私の仕事を本当によく手伝ってくれました。最後に補欠マネージャーの山下。私です。

以上14人が50期のメンバーです。中学1年の時に入った時は30人近くいたと記憶していますが、結局これだけ残りました。6年間を共に過ごした14人の友情はいつまでも消えることはない

でしょう。ふざけた文章ではありますが、50期生の諸君がこの文を読んでほくそえんでくれたら幸いです。

最後に6年間“史上最悪の学年”といわれた50期を御指導下さいました市川先生、佃先生 本当に有り難うございました。

〔山下 太郎〕